

氏名 原田良昭

学位の種類 医学博士

学位授与番号 博乙第 2012 号

学位授与の日付 平成元年 6月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）

学位論文題目 高齢者腰部椎間板ヘルニアの臨床及び病理学的研究

論文審査委員 教授 寺本滋 教授 折田薰三 教授 粟井通泰

学位論文内容の要旨

高齢者腰部椎間板ヘルニア29例29椎間板（手術時年齢60才以上）について、脱出椎間板組織を病理学的に研究し、その機序について考察した。対照として、59才以下の104例109椎間板も観察した。高齢者腰部椎間板ヘルニアの脱出椎間板組織は、60才代の70%，70才以上では80%に線維輪が軟骨終板と（ときに骨組織も含め）一塊となったものであった。従来高齢者では脱出すべき髓核が変性消失しており腰部椎間板ヘルニアは少ないとされていた。しかし、高齢者の腰部椎間板ヘルニアの病態は、椎間腔内圧の増大による髓核の圧排脱出という病態とは異なるものである。椎間板の線維構築をみると軟骨終板と椎体との結びつきは弱く、逆に線維輪は軟骨終板に強く結びついている。一方、加令により線維輪には水平ならびに垂直方向に亀裂がはいる。高齢者では軟骨終板が椎体から剥脱しこれが線維輪と一塊となって脱出様式をとるものと考えられる。

論文審査の結果の要旨

本研究は椎間板ヘルニアに関する臨床的病理学的研究であるが、60才以上の症例を59才未満を対照として検討した結果、高齢者では軟骨終板が椎体から剥脱し線維輪と一塊となって脱出様式をとることの機序を考察したものであって価値ある業績であると認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。